

飯山市教育懇談会（戸狩小学校区）発言要旨

平成28年10月27日（木）戸狩小学校ランチルーム

参加者23名

1. 開 会

2. あいさつ

自己紹介

3. 説 明

- (1) 『飯山市教育大綱』について
- (2) 『家庭学習のすすめ』について
- (3) 飯山市児童・生徒の現状と課題について
- (4) 戸狩小・城北中学校の現状と課題について
- (5) 学校別児童生徒数推移
- (6) 中学生の進路先について

4. 懇 談

○学力テストが始まって10年。当初と比べて非常に各都道府県での差が縮小傾向にあると感じる。上位の常連県が独自の学習を実行しており、下位の県が、上位県との交流を図ってレベルアップしている話を聞く。

長野県においても、今年で言うところの石川県等、上位の県との視察なり教職員間の交流を図っていただくなり、またそれぞれ戸狩小、城北中においても、先生方もいろいろ研究あるいは研修されておりますけども、飯山市の学力向上に向けてなお一層のご配慮いただければと個人的に思った。

（教育委員会）

学力先進地との視察あるいは交流を通しながら、学ぶべきところは学んで、飯山市でも学力向上を図ったらどうか、とのご意見でしたが、私どもも四年前に石川県・福井県へ、校長・教育委員会合同の視察を行いまして、先進地から学んでいる最中でございます。これからも先進地の良さを取り入れながら学力向上を図っていきたいと考えているところです。

○息子が支援クラスを利用している。

学力向上について、期末・中間、学力テストは（通常クラスと）同じものを受ける

なかで、支援クラスではどのようなやり方で、そのテストに向かっているのかを、聞きたい。

(学校)

特別支援学級についても、基本的には通常クラスと同じようにテストを受けております。授業は、少人数にして丁寧に指導をしていることになります。

自情障学級の子も、これから高校進学等を考えていくことになりますので、順に集団の中で生活する練習も加えながら取り組んでいるところです。

○同じテストで対応するのに、どのような内容で授業が行われているのか、授業参観に行かない限りみえて来ないので、情報を頂きたい。学校と保護者との共有が、もう少しできればいいと考える。

(学校)

特別支援学級の授業は、少人数で丁寧に教えていますが、内容的には通常学級と同じ内容、ボリュームをこなしていけないといけなので、少人数ではあるけれども、ある程度のスピードがないといけないので、それは進めていきたいと思います。

今後については、子どもさんの特性もあると思いますので、個々に連絡を取りあって、進めていければいいと思いますが、どうでしょうか。疑問に思っていることがあれば、遠慮なく担任や学校へ話をさせていただければと思います。

支援が必要な子については、家庭も学校も同じ方向を向いているということ、共通理解が図られ、学校で行っていることをお家の方も応援してくれる、ということが大事かなと思っています。

子どもの将来のために、中学校を卒業した後の将来をどうするかということのために、同じ方向を向いて話し合って進めてくことができればと思っておりますので、ぜひ声をかけてください。よろしくお願いします。

○コミュニティスクールについて、戸狩小学校の子どもたちには、時々、半日などで体験いただいている。

以前は、そば打ちをしていたが、最近は和紙でうちわを作っている。和紙は地元の伝統工芸を紹介するのと、和紙の良さを味わいながら自由に手作りする。

時間いっぱい、飽きもせずコツコツ一生懸命作る姿が目につく。

出来上がって喜んでくれ、大事にしてくれている様子がわかる。

こういった体験は何年生から、というように組んでくれている。

毎年、いろいろな体験メニューがあるわけだが、子どもたちが楽しんで体験できるように、新しい体験の取り入れなど、地元にはいろいろな先生がいるので、学校と

しても新しい体験を取り入れてもらえると、地元もはりきって指導に参加できるのではないかなと思う。

○コミュニティスクールは、学校の要望と、関わりたいと思っている地域の方々との、お互いが良かったという思いで終わらないと、残念になってしまうので、コーディネートしてくれる人が必要ではないかなと思っている。

コミュニティスクールを積極的に進めている地域では、学校にコーディネートする方がいて、学校の先生の要望と地域の参加したい方の思いがきちんと受け止められている、というのを聞いた。できるなら各校に両方の思いを受け止めて、うまく発展させていけるような方の存在というのが必要ではないかなと思う。

(学校)

本校では特にコーディネーターを設けてはおりませんが、運営委員の中では、責任者、運営委員長を決めていただいております。

本校でコーディネーターを定めていない理由は、負担をかけてはいけない、というのが一つあります。どうしてもコーディネーターに選ばれると、負担感が大きくなってしまう部分があると思います。

また、コーディネーターは、地区の方にやっていただくのが一番良いと考えていますので、その面で負担を大きくしてはいけないと考えております。

いただいたご意見のように、それぞれがやってよかった、という思いになるように、お互いが気楽にできるのが良いのではないかなという思いのなかで、コーディネーターを定めなくてしております。それぞれに思いがあれば、運営委員がおりますので、運営委員や学校に自由に声をかけていただくような、自由に交流できる方が、よいかなという思いで、コーディネーターを定めていないのが現状です。

○PTA の研修で、コミュニティスクールのお話が出た。木島平村ではコミュニティスクールに協力してくれる団体や個人の名簿のようなものを持っていて、学校に紹介してもらったという話を聞いた。

学校中心もいいが、戸狩地区だけでなく、秋津や富倉など他地区でこういったことがあります、というのがあれば、そういった活用もできて良いと思う。

学校だけでなく市も一体となって情報を収集してもらえたら、ありがたいと思っている。

(教育委員会)

非常に貴重なご意見ありがとうございます。

コミュニティスクールは、小学校区ごとに始まった経過があります。地域により、

そういった方々のいる地域と、そうでない地域とのばらつきが出てきましたので、市としても飯山市全体として捉える時期にきていると実感してきていますので、今後に活かしていきたいなと思っています。

協力してくれる人材の発掘については、ぜひ、お力添えをいただきたいと思います。市だけでは、そういった情報の掌握がしきれませんので、お願いしたいと思います。

○岡山小から戸狩小にきて最初の頃は、学校へ行きづらくなったり、大変だった。二学期になり、友達ができてからは、「〇〇くんと遊んだ」などと友達との話がでてくるようになり、今はそれなりに楽しく通学できているので、統合してよかったと思っている。

学力については岡山小の時は人数も少なく、目が行き届いて、本人もやらなければいけない状況だったので頑張っていた。戸狩小で人数が増えると、気持ちに余裕ができるというのか、楽々するところもあるのか、宿題をみていると、わからないところが、たくさんでできたなと感じ、今は、そこが心配。

どうやったら授業に集中してできるようになるかと考えているが、楽しく通えているのでよいかとも思っている。

○戸狩小までバスで通っているので、岡山小にいるときと違い、みんなで遊んでいる姿が見られないなあと思っている。授業参観も、岡山小では先生たちにも、少ない人数を見ていただいたので子どもたちも精一杯それにこたえて、100%というより120%くらいの力をだしてくれていたような感じを受けていた。

大勢になると、そこが80～65%なんて感じも受ける。それが普通どこでもそうではないのかと思うので、仕方ないかとは思うが。

○生徒数について数字が出ているが、中野市が近いうちに小学校再編をする。来年は山ノ内町の北小学校が西小学校と合併。北小学校の人数は30数名の規模で合併。小学校の児童数をみてもわかると思うが、戸狩小も34年までには30名ほど減る。中学に関しても城北中は少なくなってきた。市は合併を考えているのか。城北中では部活動に関しても、生徒数が減るとクラブ活動にも影響が出る。

(教育委員会)

今のご意見は、小中学校の適正規模、適正配置という大きな問題、質問だと思います。私が基本的に議会で答えていますのは、ここ3、4年についての統合は考えていないということです。今の人数で十分いろんな成果は出しているとみています。ただし、これから先もずっと統合しないということではなく、しかるべき時期が来た

ら、市としても、はっきりとした形で結論を出さざるを得ない時期がくると認識しています。

このような教育懇談会をやりながら、みなさんのご意見を聞き、5～6年先どうしたらよいかというのは、それらをしっかり検討するものを立ち上げて、長期にわたってしっかり考えていかななくてはいけないと思っています。

この地域にとって、学校がなくなるということはいろいろな問題があると思いますが、子どものことを第一に考えていかなければいけないと思っています。

はっきりしたデータをお示ししたのは、飯山市民のみなさんに、今、述べられたようなことをお考えいただきたいと思ってのこともあります。

いずれにしても、今は統合を考えておりません。しかし、その先のことは十分考えていかなければいけないと思っています。

○要望ですが、こういう場があることを近所の人に話しましたが、日時が近い。知ってから2週間ほどしかない。みなさん予定があるから、なかなか難しいのが1つ。それから、そういう場に出て意見を出しにくいという意見、また、意見を出すのであれば、もう少しグループなどで話してからにしたいというような声もあった。

市政懇談会は集落単位でやっている。教育懇談会は、いきなり小学校区別になっている。話しやすい環境を用意するのも（座り方一つも）工夫していただきたいのと、どうしても出られない人の意見をどう吸い取るのか、アンケート調査など、匿名でもいいと思うが、そういった要望もご検討いただきたいと思う。